



第4号様式 (第13条)

函館市IT・ロボット等活用生産性向上補助金等実績報告書

令和 4年 (2022年) 4月 28日

函 館 市 長 様

住所 北海道函館市湯浜町1番4号
申請者 氏名または団体名 三印三浦水産株式会社
および代表者氏名 代表取締役 三浦貞子

令和3年(2021年)7月1日付け函経工をもって補助金等の交付決定を受けた下記の補助対象事業は、令和4年(2022年)4月28日に完了したので、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 補助対象事業の種類 (該当する番号を○で囲むこと。)
- (1) 専門家派遣型IT・ロボット等設備導入支援事業
 - (2) IT・ロボット等活用共同研究支援事業

2 補助対象事業の名称 小型魚の重量選別ラインの導入

3 補助金等交付決定通知額 金8,800,000円

4 補助金振込先 (申請者の口座)

銀行名	支店名	口座の種類	口座番号
口座名義	(カナ)		

5 実績書 別紙のとおり

実績書

事業の名称	小型魚の重量選別ラインの導入
実施内容	一尾単位で重量を選別するロータリーグレーダを利用することにより、正確な重量を選別、規格外製品の発生を防ぎ、かつ再選別が不要となることから鮮度維持が可能になる。
期待される効果	一尾単位での正確な重量選別と時間短縮による鮮度維持が可能になるため、餌用、食用凍結品、自社加工用と仕分けでき、今後の自社製品製造時における品質や歩留まりの向上が期待できるなど、選別作業の効率化や、工場の生産性向上が見込まれる。 このほか、水産物選別機械としては革新的な機能（タッチスクリーンに設定・運転状況や集計情報をリアルタイム表示）を搭載しており、USBによるデータのパソコン管理が容易に可能な為、工場と離れた場所にいる営業が集計データを活用し顧客ニーズにリアルタイムに近い状態でこたえる事が出来る。
今後の展開について	ホッケの選別に限らず、他の魚種にも活用し、他社との差別化を図りながら販路拡大を予定している。
研究者の協力内容 (共同研究支援事業の場合)	

(注) 1. 実績書の内容について、詳細に記載すること。(別紙も可)

2. 導入した商品の写真および概要のわかる資料ならびにその他必要と認めた書類を添付すること。

収支決算書

収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内訳
		うち補助対象事業		うち補助対象事業		うち補助対象事業	
自己資金	8,800,000	8,800,000	8,425,000	8,425,000	△ 375,000	△ 375,000	
函館市補助金	8,800,000	8,800,000	8,425,000	8,425,000	△ 375,000	△ 375,000	
合計	17,600,000	17,600,000	16,850,000	16,850,000	△ 750,000	△ 750,000	

支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内訳
		うち補助対象事業		うち補助対象事業		うち補助対象事業	
ローリーゲータ	17,600,000	17,600,000	16,850,000	16,850,000	△ 750,000	△ 750,000	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
合計	17,600,000	17,600,000	16,850,000	16,850,000	△ 750,000	△ 750,000	

収支差引額 0 円

Y当初想定していた金額より
750,000円少額です

(注) 1. 金額については、すべて消費税および地方消費税相当額を除いた額で記載すること。